

**③ 国立公園施設整備事業
(自然保護推進室)**

国立公園等施設整備事業(万年山避難小屋トイレ整備)

1 現状・課題

万年山(玖珠町)は耶馬日田英彦山国定公園内に位置しており、山頂付近はトレッキングコースとして整備され、ミヤマキリシマの開花時期(5月～6月)を中心に、年間約2万人近くの登山客が訪れている。

9合目付近にある避難小屋は昭和43年に整備され、一部改修を行ってきたものの、トイレは浸透式の和式であるため、利用者から「臭い、汚い」等の意見が寄せられていた。



2 目的

万年山避難小屋トイレをバイオトイレ※化(洋式)することにより、公園施設の利用環境を整備するとともに、森林レクリエーションの機能向上を図る。

※バイオトイレ: 排泄物を酵素やバクテリアを使って、処理分解するトイレ

3 事業内容

- | | | | |
|--------|-----------|-----------|------|
| (1)概要 | バイオトイレの整備 | 男:小1基、大1基 | 女:2基 |
| (2)事業費 | 34,267千円 | | |

国立公園等施設整備事業(万年山避難小屋トイレ整備)

4 成果

バイオトイレ(洋式化)の導入により、利用者の衛生環境及び利便性が向上した。

利用者の声

- ・きれいになり、悪臭がしなくなった。
- ・洋便器になり使いやすくなった。



5 今後の課題と取組

今後は、玖珠町と連携した観光情報等の発信により、県民の森林にふれ親しむ機会の増加、豊かな森林づくりへの意識の醸造を図る。

**④森林づくりボランティア活動促進事業
(森との共生推進室)**

森林づくりボランティア活動促進事業

目的

ボランティア活動の活性化と県民で森林を守る意識の醸成

森林環境税で支援

県民

参加

森林ボランティア団体

森林ボランティア個人

企業

問合せ

情報発信

申請

登録

大分県森林づくり
ボランティア支援センター
(高尾山自然公園内に設置)

報告

委託

大分県

申請

補助

ボランティアによる森林づくりの活性化
(里山林整備、提案事業、企業の森づくり)

県民総参加・森林ボランティアによる森林づくりの推進

①森づくりボランティア支援センター事業

森林ボランティア情報の収集・発信

①「大分県森林づくりボランティア通信」の発行

- ・毎月、1,000部発行
- ・県下の森林ボランティア情報を掲載
- ・ボランティア参加者等、関係者に配布

***** 森林ボランティア活動を推進するための情報誌です。*****

大分県森林づくりボランティア支援センター通信 発行 大分県森林づくりボランティア支援センター 2012.6.1発行

入稿
そろそろ梅雨入りです。また草の丈の伸びる時期でもあり、このころ切ると、夏場が楽です。雨の中の作業はちよつとしたミスが怪我に繋がります。身支度・足もとに充分気をつけて下さい。

うーた山再生プロジェクト
作業の前の確認も大事です
大分市橋尾 (5月19日)

● 現在募集中の森林ボランティア情報

日 時	活動場所 (集合場所)	作業内容	持ち物	主 催 申し込み
			参加費	
6月9日 (土) 9時~13時	竹田市久住町 沢水キャンプ場展望台	下刈り	雨具・長靴・帽子等 カンパ・虫・管 昼食 用意します 参加費 500円	緑の工房なぐらす 携帯 090-8782-3344 FAX 097-536-6665 葛西
6月10日 (日) 10時~15時 (雨天6月17日)	日田市有林 断老堂 天瀬辰興局前	植栽地整備	弁当・水筒・着替え 山・自然を愛する心 参加費 500円	瀬ノ見岳愛育会 TEL 092-581-2054 携帯 090-8768-9689 上野
6月24日 (日) 10時~15時 (雨天7月1日)	日田市 瀬ノ見岳 天瀬辰興局前	広葉樹林 整備	弁当・水筒・着替え 山・自然を愛する心 参加費 500円	瀬ノ見岳愛育会 TEL 092-581-2054 携帯 090-8768-9689 上野
7月1日 (日) 9時~15時	由布市狭間 陸屋の村 キャンプ場奥	竹林整備 遊歩道整備 ほか	おにぎり・飲み物 箸・皿・長靴等 参加費 無 料	グリーンインストラクター おおい TEL 097-543-8510 携帯090-3734-9821 鬼塚
7月8/9日 (土・日) 8時~16時 倍返しあり	国東市安岐町 関子寺 関子寺駐車場	下刈り 締め切り 6月30日	飲み物・軍手等 道具(鎌・刈り払い機) お持ちの方 昼食 用意します 参加費 無 料	関子の森プロジェクト TEL 0978-65-0253 FAX 0978-65-0025 寺田

* 参加希望の場合、必ず主催者に事前(3日前まで)に申し込んでください。

②ホームページの開設・更新

- ・森林ボランティアに関する様々な情報を発信
- ・主な内容
募集中の森林ボランティア活動情報の発信
森林ボランティア、団体の登録情報
森林ボランティア活動レポートなど



③森林づくりフィールドの募集、情報提供

森林づくりフィールド情報を募集

現地調査
報を登録

ボランティア
団体や企業等に
情報提供

②森林づくり提案事業

目的

県民から森林づくり等に関する事業提案に対して支援

内容

- ・ 下草刈り
- ・ 枝打ち
- ・ 施肥
- ・ 外来種駆除
- ・ チェーンソー伐採作業安全講習
- etc…

実績

提案事業 46 団体
参加者 9,471人



植樹活動



森林環境教育



里山整備

森林づくりボランティア活動促進事業

目的

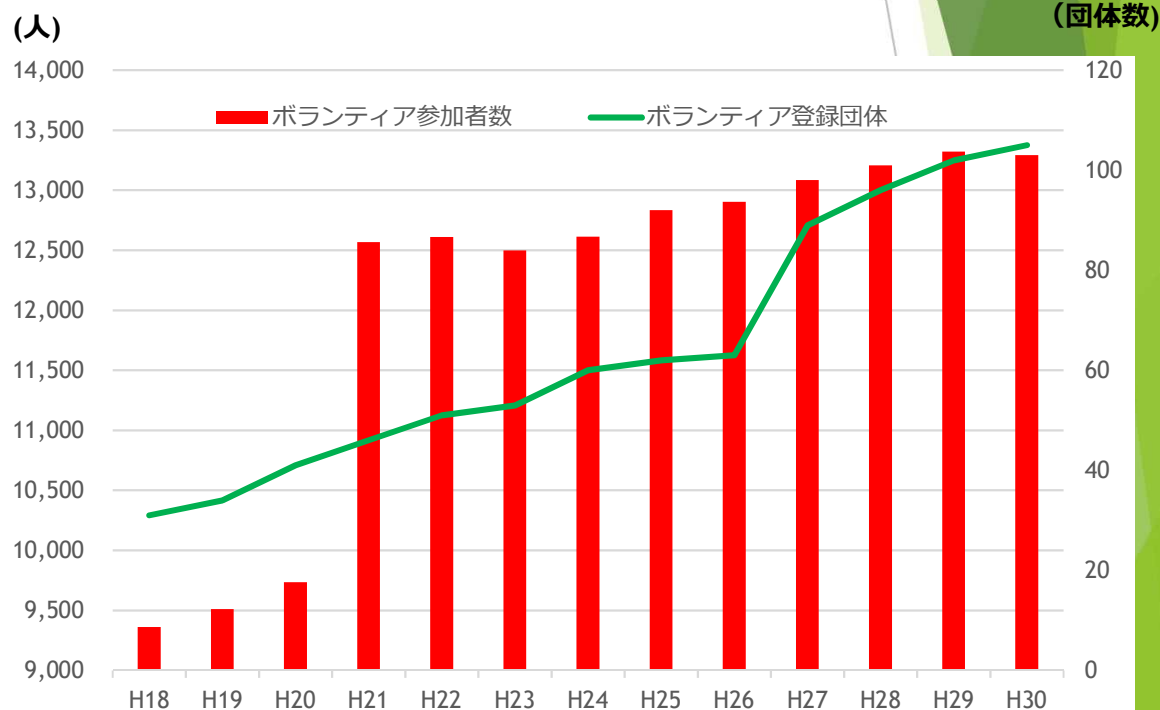
ボランティア活動の活性化と
県民で森林を守る意識の醸成

実績

H30 森林ボランティア参加者 13,291人
ボランティア登録団体数 103団体

- ① 森林ボランティア
支援センター事業
- ② 森林づくり提案事業

H18～H30の参加者
延べ 157,523人



森林ボランティアの現状・課題

- ・ 森林ボランティア団体・参加者数は増加傾向
- ・ 新規加入者・団体等の安全対策、スキルアップ等が求められる。

対 策

- ・ 森林ボランティア各種研修会の充実化
令和元年度のボランティア研修
 - ① ボランティア指導者安全等講習会
 - ② 刈払機・チェーンソーの技術講習（新規）
- ・ 森林ボランティア団体の広報を強化

森林ボランティア活動の活性化

**(3) 令和元年度
森林環境税活用事業について**

地域の安心基盤づくりサポート事業

○事業概要

県管理河川内で、流木や流水阻害を発生させる河道内樹木（河道内や堤防上も含む）に小規模なもの（1箇所最大100万円程度）について、県内10箇所程度予定

少量の河道内樹木の例



浸水被害



橋脚に引っかかっている少量の流木



流木撤去状況

平成30年7月豪雨を踏まえ、平成31年から3年間に限り、少量の流木や河道内樹木の伐採を対象として、県民の要請に速やかに対応することにより、被害軽減対策による防災力強化の取組を進める

○事業効果

災害に強い森林づくり推進事業による『河川沿いの森林整備』と連携して、流木の除去や河道内樹木を行うことにより流木被害軽減をはかる

県産品販路開拓支援事業

ラグビーワールドカップの、県内経済波及効果等試算 (H30. 2)

- ・ 経済効果：253億円
- ・ 観戦客数：189,000人（うち外国人48,000人）
- ・ ファンゾーン来場者数：185,000人

県産材を利用した本県**伝統工芸品**（別府竹細工・日田げた）を**世界にPR**する絶好のチャンス

→大分県ブランドとして魅力を発信し、販路拡大に繋げる。

【具体的な取組】（事業）

大分伝統工芸品の世界展の開催 （OITA Traditional Craft WORLD Exhibition）10月1日～23日（23日間）

展示内容：別府竹細工（国指定伝統的工芸品）、その他の竹・つげ工芸品（アート、アクセサリなど現代的な工芸品）をはじめ、日田げたなど県産材を利用した工芸品

構成：展示会＋会場内での販売

委託先：（公財）日田玖珠地域産業振興センター

会場：OPAM アトリウム スペース



国際芸術文化振興事業

～「巨大寝ころび招き猫」の活用～

○事業概要

2018年の国民文化祭に合わせて作成した巨大寝ころび招き猫を、大分市に移設。2019・2020年に開催する、ラグビーWCやオリンピック・パラリンピックの開催に合わせたイベントを開催し国内外に情報発信する



大分市昭和通り交差点（北側東エリア）
詳細地図



「巨大寝ころび招き猫」



現在、大分市昭和通り交差点に設置中

・子供向けワークショップの開催(大分県森林環境税を活用)
木材を活用した、猫の形の木製絵馬に好きな絵を描き、「招き猫」を背景に記念撮影する。併せてSNS等のメディア媒体を活用した「森林環境税」活用のPRを行う。

ラグビーワールドカップ開催事業

ラグビーワールドカップ2019™日本大会大分開催での県産材PRについて

概要

木材の魅力を発信するとともに、県産材の利用促進等を図るため、大分で準々決勝2試合を含む5試合が開催されるラグビーワールドカップ™2019において、国内外から来県する観戦客等に向け、県産材をPRする。



◆大分での試合日程

日程	対戦カード
10月2日(水) 19:15~	ニュージーランド v カナダ
10月5日(土) 14:15~	オーストラリア v ウルグアイ
10月9日(水) 18:45~	ウェールズ v フィジー
10月19日(土) 16:15~	準々決勝 プールC 1位 v プールD 2位
10月20日(日) 16:15~	準々決勝 プールD 1位 v プールC 2位

2 事業内容

観戦客に会場への交通アクセスや観光情報等を提供する案内所等を県産材で制作

(1) 県産材案内所設置予定

多くの観戦客の往来が予想される、大分駅、別府駅、大分空港の3箇所の案内所について県産材で制作

(2) 経費：3,292千円

(うち県負担額2,107千円に森林環境保全基金を充当)

【参考イメージ】 ~2018 国民文化祭~
大分県産材を活用した総合案内書の設置



大分空港

別府駅



ラグビーワールドカップの、県内経済波及効果等試算(H30.2)

- ・ 経済効果：253億円
- ・ 観戦客数：189,000人（うち外国人48,000人）
- ・ ファンゾーン来場者数：185,000人

おもてなしトイレ緊急整備事業

目的

来県する観光客が快適に利用できる公衆トイレとするため、これまで県内観光施設等のトイレにおいて洋式化などの改修を行ってきた。来年開催されるラグビーワールドカップ2019では、国内外から多くの方が来県するため、引き続き、観光施設にあるトイレの改修等の整備を行っていく。

今回、公園や道の駅などの観光施設に加え、森林にある観光施設のトイレもきれいにすることで、訪れた方々に気持ちよく楽しんでもらうとともに、森林全体の環境づくりにも寄与する。

事業内容

市町村がトイレを新築、改修(和式→洋式等)する事業費の補助

- ・補助率 1/2以内
- ・補助額(上限) 新築500万円 改築300万円 改修150万円



対象施設

施設名	整備内容	事業費	うち 森林環境税
八面山(中津市)	新築	38,500千円	5,000千円
男池(由布市)	改修	4,500千円	1,500千円



みどりの少年団活性化推進事業

<みどりの少年団とは>

- ・次代を担う少年少女に森林に親しむ機会を与え、校外における団体教育を通じて、郷土を愛する豊かな人間性を育むことを目的
- ・昭和44年、秋田県が「緑の少年団結成」について提案し、大分県では昭和49年に別府市で初のみどりの少年団が誕生

<現状>

- ・県内では昭和52年に開催された第1回全国育樹祭を契機に結成が進む
- ・昭和59年に設立した大分県緑の少年団育成連絡協議会が、地域の少年団の活動を援助指導
- ・現在県内の少年団数は23団体。小学校における活動組織や公民館活動組織として運営されている。概ね小学校4年生以降の児童を主力として活動
- ・主な活動として、森林学習や夏休みのキャンプ等の自然体験活動を実施している

<課題>

- ・少子高齢化等により、年々団数が減少。
※少年団員数：5,894名(H13) ⇒ 4,983名(H30)
少年団数：69団体(H13) ⇒ 23団体(H30)
少年団が無い市町村：国東、杵築、日出、津久見、豊後大野、九重、姫島
- ・指導者間での温度差等もあり、自発的に少年団が継続して活動が出来る体制ができていない。
※活動を促進するための指導者の育成、団の活動の活性化が必要。
各少年団の活動内容を共有し、団員間の交流を推進する場の提供。

<対策>

- ①新規少年団の結成支援
 - ②「全国緑の少年団活動発表大会」への出場を目指し、県下の少年団に対し指導者等の育成研修や少年団が自ら計画した活動経費等を支援（県独自の県内少年団による活動発表研修会を開催こととしており、本事業の取組と連動させる）
- ・令和3年に本県で第45回全国育樹祭が開催されることから、これをよい機会と捉え、県内の少年団組織の活性化を図る。



活動発表大会の様子

<効果>

- 各少年団が独自で行った取組を継続させ、毎年全国発表大会への挑戦を目指すなど、少年団の活動意欲を維持増進
- 活発な活動を保ち、継続的に次代の森づくりを担う人材が多く育成される環境を確保

令和元年度 森林環境税事業予算

(千円)

I 県民生活と自然環境を守る森林づくり	R1当初予算	H30当初予算	増減額		R1当初予算	H30当初予算	増減額
1. 荒廃森林の整備				⑤ 森林認証材等供給体制整備事業(H30～H31) 森林認証材の供給体制構築のための実証事業	2,847	3,163	△ 316
① 災害に強い森林づくり推進事業 河川沿いで流木発生の恐れがある人工林の広葉樹林化等	36,524	30,484	6,040	国民文化祭開催準備事業(国民文化祭・障害者芸術文化祭局)(H30終了) 総合案内所、案内板等に県産材を活用	0	1,586	△ 1,586
② 急傾斜地崩壊危険区域緊急伐採事業(砂防課) 急傾斜崩壊危険区域内で、災害を招く恐れのある雑木等を伐採	9,167	9,000	167	⑥ ラグビーワールドカップ開催事業(ラグビーワールドカップ2019推進課) 総合案内所に県産材を活用	2,107	0	2,107
③ 地域の安心基盤づくりサポート事業(建設政策課) 河川内において、流水を阻害させる流木等の除却及び河道内樹木の伐採	10,000	0	10,000	⑦ 国際芸術文化振興事業(芸術文化スポーツ振興課) 県産材で制作した芸術作品の展示及び木材を使ったワークショップを開催	800	0	800
2. 里山林の保全と利活用				3. 林業の担い手確保・育成			
④ 荒廃竹林整備・利活用推進事業 広葉樹林化やタケノコ生産林への再生、竹チップ等の利活用推進	17,928	14,184	3,744	林業就業準備支援事業(H30終了) 研修に必要な備品等の購入	0	422	△ 422
⑤ 県営都市公園里山利活用推進事業(公園・生活排水課) 大分スポーツ公園の里山や竹林を利活用し、自然体験や環境学習を実施	1,943	1,917	26	小計	113,956	121,979	△ 8,023
⑥ 魅力ある景観づくり推進事業(都市・まちづくり推進課) 観光ルート沿線や視点場を阻害する雑木を伐採し、景観の再生を図る	10,000	8,000	2,000	III 森にふれ親しみ、森林づくりを支える取組	H31当初予算	H30当初予算	増減額
3. シカ被害対策の推進				1. 森林ボランティア活動の促進			
⑦ 鳥獣被害総合対策事業 シカ捕獲の推進や侵入防護柵の設置等	58,167	62,434	△ 4,267	① 森林づくりボランティア活動促進事業 森林ボランティアや企業等による森林づくり活動を支援	20,728	22,602	△ 1,874
⑧ 自然環境保全管理費(自然保護推進室) 祖母傾国定公園内における動植物の生態調査等	4,997	3,520	1,477	2. 森林環境教育・木育の促進			
4. 森・川・海をつなぐ環境の整備				② 森林環境教育・木育促進事業 青少年の森林体験及び木育活動の推進	8,381	8,919	△ 538
⑨ 森と海をつなぐ環境保全推進事業(循環社会推進課) 海岸に漂着した流木等を自治会やNPOが回収・除去	3,000	2,100	900	③ 祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク施設整備事業(自然保護推進室) 藤河内遊歩道及び案内板等受入環境整備	11,675	2,221	9,454
⑩ 森と海をつなぐ環境保全推進事業 漁港、港湾等の流木を回収除去し、漁船や漁具への被害を防止	3,640	3,640	0	国立公園等施設整備事業(自然保護推進室)(H30終了) 万年山トイレの整備事業	0	37,896	△ 37,896
⑪ 豊かな水環境保全推進事業(うつくし作戦推進課) 河川流域の水環境保全活動及び広報活動を支援	2,931	3,404	△ 473	④ 森林環境学習促進事業(社会教育課) 環境学習指導者の養成研修会の開催、アスレチックの整備 など	7,729	5,924	1,805
小計	158,297	138,683	19,614	⑤ 未来の環境を守る人づくり事業(うつくし作戦推進課) 子ども探検団の自然体験活動の実施、環境活動発表会の開催	3,573	3,573	0
II 森林資源の循環利用による地域活性化	H31当初予算	H30当初予算	増減額	⑥ おもてなしトイレ緊急整備事業(観光・地域振興課) 山の中のトイレ整備事業【八面山(中津市)/男池(由布市)】 県民の森管理事業(H30終了) 「県民の森」案内看板の設置(大分IC～平成森林公園方面)	6,500	0	6,500
1. 健全な人工林資源の再生				⑦ みどりの少年団活性化推進事業 みどりの少年団の活動支援	3,500	0	3,500
① 再造林促進事業 林業経営適地での低コスト再造林を促進	105,000	93,075	11,925	3. 森林づくりへの理解と参加を広げる活動			
2. 森林資源の需要拡大				⑧ みんなで支える森林づくり推進事業 森づくり大会、森林づくり委員会の開催等を支援	4,452	4,452	0
② 県産竹材利用促進事業(工業振興課) 創業支援によって竹材利用を促進	502	330	172	⑨ おおいたの森林づくり広報推進事業 森林環境税に関する広報活動	4,219	4,965	△ 746
③ 竹産業等振興対策事業 たけのこ生産技術研修の実施及び普及啓発活動の支援	700	621	79	ラグビーW杯の県民に向けた森林環境税に関する広報活動(H31)	2,538	1,948	590
木造建築物等建設促進総合対策事業(H30終了) 地域材を活用する人材の育成(木造マイスターのステップアップ研修) 竹田津漁港上屋の木質内装化を支援	0	4,442	△ 4,442	⑩ おおいたうつくし作戦推進事業(うつくし作戦推進課)(骨+肉) 「おおいたうつくし作戦」の推進			
④ 県産品販路開拓支援事業(商業・サービス業振興課) 県産竹材・木材を活用した伝統工芸品をPRする展示会を県内で開催	2,000	0	2,000	小計	73,295	92,935	△ 19,640
県立スポーツ施設建設事業(屋内スポーツ施設建設推進室)(H30終了) 屋内スポーツ施設の建設(屋根構造の木造化)(H29～H30)	0	18,340	△ 18,340	合計	345,548	353,597	△ 8,049
				他部局事業	79,462	99,759	△ 20,297

※事業名の後の()書きがないものは農林水産部執行分

(4) その他

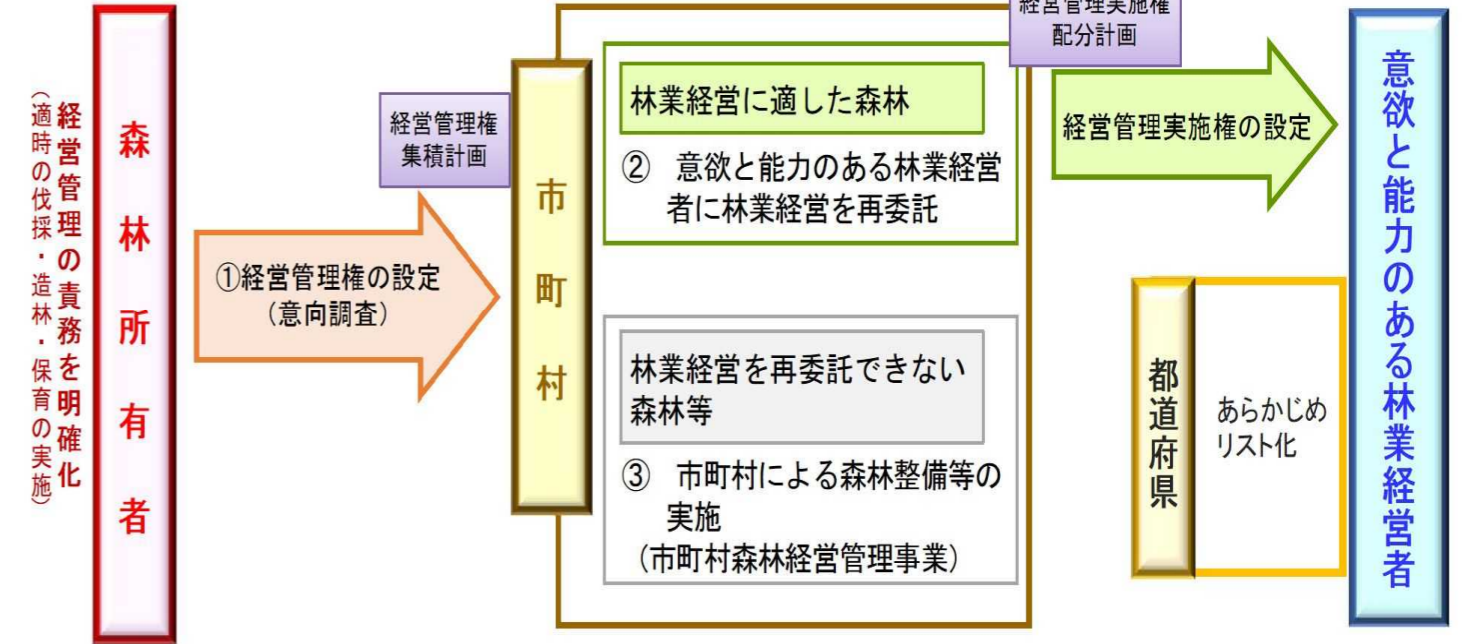
①国の森林環境譲与税について

(1)新たな森林管理制度(森林経営管理法)の整備

森林所有者が森林整備を行う意向がない森林(経営放棄森林)について、所有者から市町村が一
定期間「経営管理権」を取得、市町村が委託した事業者又は自らが森林整備を実施。

森林所有者	経営者	森林整備の財源	森林経営の方向性
森林経営の意向あり	事業者(森林所有者含む)	通常の公共造林事業 の補助金等	育成林(人工林等)とし て維持管理
// なし (所有者へ意向調査)	市町村が委託した事業者		
	市町村(事業者へ発注)	国森林環境譲与税	複層林等へ誘導

新たな森林管理システム
(森林経営管理法 H31.4施行)

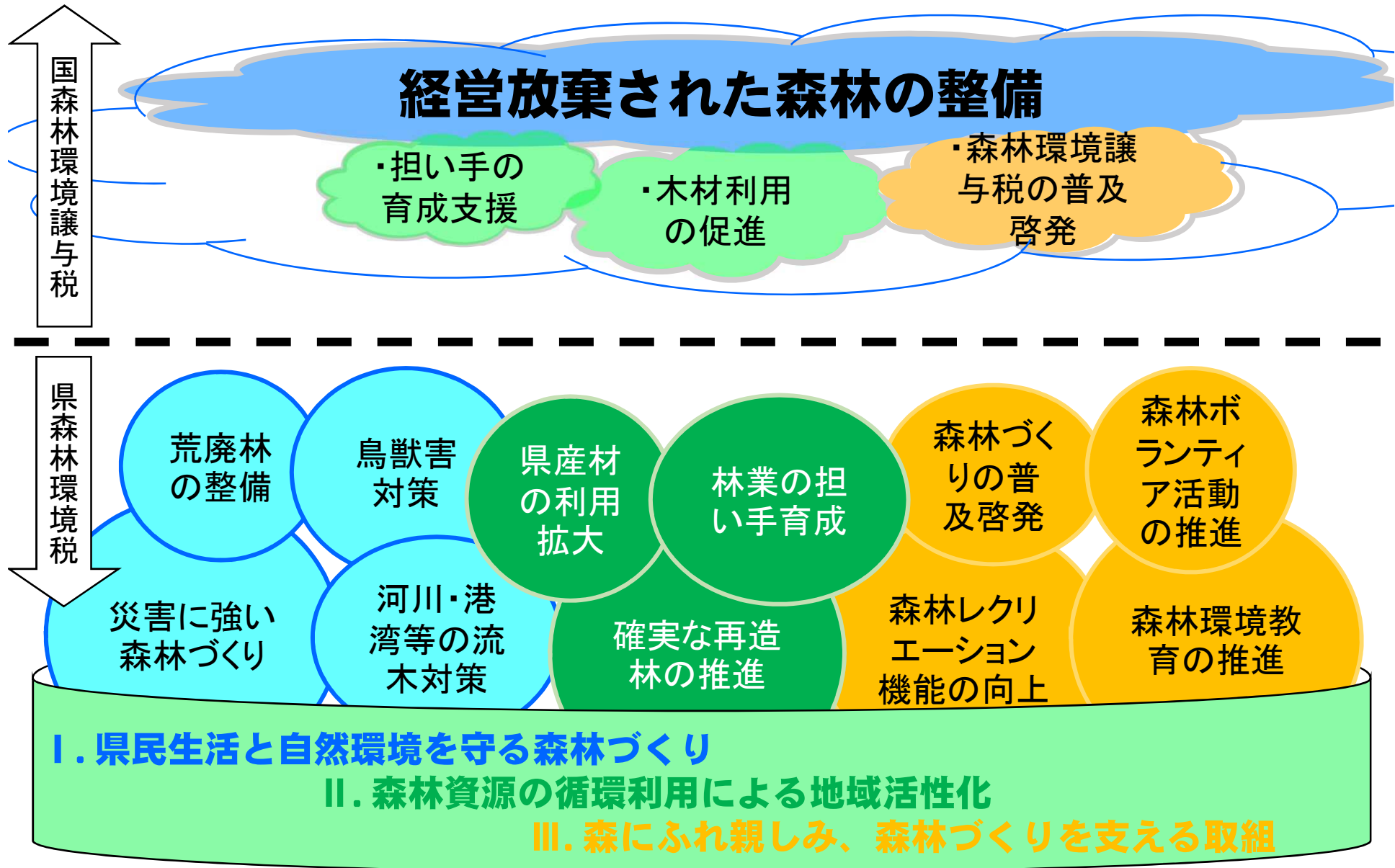


(2) 国森林環境譲与税と県森林環境税の使途の整理について

- ・森林環境譲与税は、市町村における「新たな森林管理制度」の円滑な推進のために行う、「経営放棄森林での間伐等の森林整備、その促進に向けた担い手育成や木材利用、普及啓発等」及び「それらの円滑な実施のための、県による市町村への支援」等が使途となっている。
- ・森林環境譲与税は「新たな森林管理制度」(森林経営管理法)の円滑な推進のため、経営放棄森林内の森林整備とその促進に必要な対策に充てることを目的としており、県森林環境税とは課税目的が異なる。

区分	(国) 森林環境譲与税		(県) 森林環境税
	市町村配分	県配分	
税収 R1 平準化(R15~)	3. 6億円 1 2. 3億円	0. 9億円 1. 4億円	3. 2億円 (R1)
創設の趣旨	・新たな森林管理制度(森林経営管理法 H31.4施行)を踏まえ森林整備等に必要な財源確保(H31開始) ※森林経営管理法とは森林所有者が森林整備を行う意向のない森林(経営放棄森林)について市町村が経営管理権を取得し、自ら経営管理を行える新たなシステム		・森林環境保全活動 ・県民総参加の森林づくり活動
使途	○新制度の円滑な推進に必要な事業 1 経営放棄林(経営管理権取得森林)の森林整備 ・市町村が自ら森林整備 2 上記1の促進に必要な以下の対策 ・条件整備、担い手の確保・育成、木材利用、普及啓発	○新制度の円滑な推進に向けた、市町村への支援	○第3期(H28~R2) I 県民生活と自然環境を守る森林づくり II 森林資源の循環利用による地域活性化 III 森林にふれ親しみ、森林づくりを支える取組 <H30主な使途> ①低コスト再造林の促進 ②シカ被害対策 ③里山林の利活用
本年度の活用状況について	森林の整備及びその促進に関する施策の実施に必要な職員が不足している市町村に対し、森林整備に係るアドバイスやコーディネート等の直接的な支援業務を委託(受注者:県森連)等		市町村の、森林環境譲与税の森林整備における活用については、まず森林所有者への意向調査が必要となり、体制整備に時間を要することから、本年度の県森林環境税の執行方針については、基本的には前年度の方針を継続。

大分県森林環境税と国森林環境譲与税の現状



今後の、大分県森林環境税のあり方検討に際しては、国の森林環境譲与税との用途整理が必要

②今後のスケジュールについて

森林環境税検討スケジュール(令和元年度～令和2年度) (案)

令和元年度(平成31年度)												令和2年度										R3		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
<p>森林づくり委員会</p> <p>委員の委嘱</p> <p>第1回 平成30年度森林環境税活用事業実績報告</p> <p>第2回 次年度新規事業審査</p> <p>第3回 第3期森林環境税活用事業の効果検証 第3期森林環境税活用事業実績の総括 現地視察</p> <p>第4回 第4期のあり方・テーマ(柱)素案を作成 森林環境税(国)との住み分け 税収状況と活用用途の整理</p>												<p>第1回 課題整理・R1年度実績報告 第4期のあり方・テーマの決定 第3期の5ヶ年実績の最終整理</p> <p>第2回 第3期報告書について 今後の県森林環境税のあり方について 知事との意見交換(HP)</p> <p>委員長から知事に報告書提出</p> <p>第3回 パブコメに対する県回答案 条例改正について</p> <p>第4回 第3期の環境税の総括と現地視察</p> <p>委員の委嘱</p>										R3		
<p>議会</p> <p>6月議会</p> <p>9月議会</p> <p>12月議会</p> <p>3月議会</p> <p>6月議会</p> <p>9月議会 常任委員会報告 【森林づくり委員会の実績報告】</p> <p>12月議会・条例案提出【環境税の期間延長】</p> <p>3月議会 当初予算</p>												<p>第3期の実績・効果検証結果と、第4期に向けての、委員会での検討結果について、委員会で知事に報告と意見交換</p> <p>パブリックコメント (約一ヶ月)</p> <p>パブリックコメント結果公表</p> <p>条例案作成 【環境税の期間延長】</p> <p>市町村通知</p> <p>条例改正 条例公布</p>												
<p>森との共生推進室</p> <p>新聞広報① PPRパンフレット作成 (第3期森林環境税5カ年の成果と効果のPPR)</p> <p>農林水産祭でのアンケート実施</p> <p>森づくり大会アンケート実施</p> <p>県政モニターの実施 (認知度調査・県森林環境税に期待する効果)</p> <p>新聞広報② (第3期森林環境税5カ年の成果と効果のPPR)</p>												<p>新聞広報③ + テレビ広報 (第3期森林環境税5カ年の成果と効果PPR)</p> <p>HPによる広報 (県森林環境税と国森林環境税の用途整理について)</p>												